



金属プレハブ 営業トピックス

Vol.01
2022.2

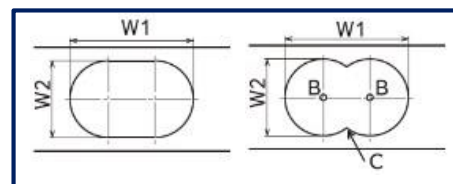
金属プレハブの加工範囲拡大

■リケンより一段落ちサドル発売。

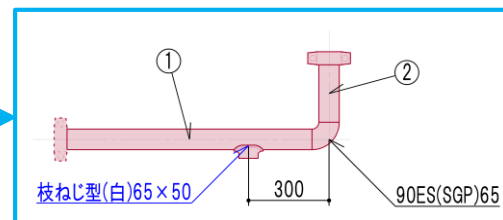
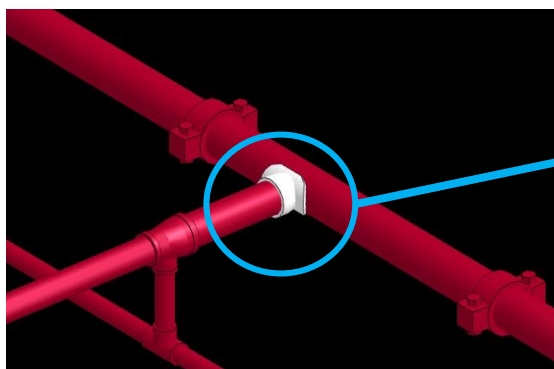
従来、一段落ちのねじ接合の枝管を取り出す場合、溶接チーズの異径品とねじ込み継手のソケットを合わせて用いる必要があったが、今回の一段落ちサドルの登場によって、工数とコストを抑えた配管が可能になった。特に消火配管で多く使用されると期待。



但し、一段落ちサドルの穴あけ方法は、従来品と穴あけ形状が異なります。



- ・長穴形状での穴あけが必要。
ホールソーによる加工が複雑に。



昨年、リケンから一段落ちサドルが発売。弊社の東京CADセンターにて作図対応可能になりました。プレハブ加工での製造・販売を行っております。

販売窓口

栗井機鋼株式会社 東京支店

Tel : 03-3452-2266

Fax : 03-3451-0133

お打合せ窓口

栗井機鋼株式会社 東京CADセンター

Tel : 03-4582-6077

E-mail : bimap@awai.co.jp